

令和7年度 屯田中央学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：32009

「学ぶ力」	
これまでの成果	課題
<p>◇生徒アンケートから、「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある」「新しく学んだことを、多くの学習や生活の場面で使おうとしている」生徒が多いという実態がある。</p> <p>◇ICT 機器の導入により、疑問や課題解決のために、端末を積極的に利用し、学習に役立っていることが明らかになった。</p>	<p>◇「自分で計画を立てて勉強している」「授業中、自分の意見を進んで発言している」の割合が低い傾向にある。</p> <p>◇授業中の端末使用には一定の成果が見られるものの、家庭学習においては活用できていない実態が見られる。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇札幌市の共通指標の「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」等の相互認証に関連する項目において、肯定的な回答が昨年度より増加傾向にある。学校祭、合唱発表会などの学校行事が制限なく実施されるようになったことで、自己肯定感の向上が見られたものとする。引き続き、自分に自信が持てるような場面設定をする必要がある。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

意味理解を伴った基礎知識の習得と、知識を使いこなす力

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
取組	<p>◇「分かる・できる・楽しい」授業づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> → 自信・自己肯定感の醸成 → 体験的な活動の充実…実験観察、作品制作・ICT活用 → 言語活動の充実…記述・発表 → TT・少人数指導の充実…個に応じた指導 <p>◇各教科において、生徒の課題探求や工夫が保障される単元構成</p>	<p>◇よりよい学級にするための学級活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> → 学級の様々な課題を議題にした学級会の実施 → 学校行事へ向けた取組の充実 <p>◇自らの生活を振り返る場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> → 生活手帳「ミライパスポート」の実施

〈本プログラムの実行に向けて〉

